

てっくぶらざ

2016 SUMMER VOL. 93



お店にどんどん人が集まる
魔法のPOP戦略

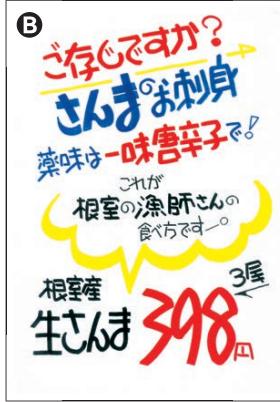
価格以上の「価値」を伝える実践方法

監修・POPスター 沼澤拓也
株式会社ビーオービーオリジン代表取締役。企業や団体など年間150回以上
のPOPセミナー活動を行なう。POP広告クリエイター技能審査専門委員。「たっ
た1行で繁盛店に変える」つい買いたくなるPOPの極意」(実業之日本社)な
どの著書がある。



POPで訴えたいのは
価格ではなく「価値」

今、店頭でお客様一人ひとりに語りかけることができるPOPの価値があらためて見直されています。POPは他店との差別化を図り、お客様の満足度を高める「一人の店員に匹敵する働き者」です。今回は実例を見ながらPOPづくりのコツとPOPを使った販売戦略について考えます。



【図1】買いたくなるPOPはどっち?

価格を打ち出すのではなく、商品の価値や楽しめ方を伝えることで、POPもお客様に対して重要な「従業員」となる

のスーパーでは同じ商品がもっと安いかも」と思つてしまふかもしれません。それに対してBは商品に関わる情報、すなわち「根室の漁師」という魚のプロの食べ方を提案しています。見ただけでも口の中に一昧唐辛子のピリリとしあった辛さを感じる人もいるでしょう。売場に一昧唐辛子と一緒に並べることで、あわせて購入するお客様が増えたのです。つまりBのPOPには、売場でお客様の欲求を刺激し、今夜の食卓にあります。POPは決してプライスカードではありません。商品やサービスを通してお客様の生活を充実させる知恵と知識を提供し、他店とは異なる独自のバリュープロductは決してプライスカードではありません。商品やサービスを打ち出していく強力なツールです。価格よりも商品の魅力と価値を説いて語る……そんなPOPづくりについて解説します。



魔法のPOP戦略

お店にどんどん人が集まる 価格以上の「価値」を伝える実践方法

外国人の満足のツボを知る お国柄マーケティング

日本を訪れる外国人観光客が急激に増えています。お客様が暮らす国や地域の「お国柄」を知れば、何をお求めになり、何に満足されるのかが見えてきます。

第3回

台湾

口コミ情報をいち早くキャッチ
「おまけサービス」に商機あり



日本の医薬品や菓子が大人気

親日として知られる台湾の人々は、日本文化への造詣が深く、訪日意欲がたいへん旺盛です。台湾は亜熱帯～熱帯気候のため、日本ならではの四季の景観を楽しむために来日し、そこでの記念写真撮影も、旅の大きな目的のひとつとなっています。

さらに注目すべきは、台湾はFacebookの利用率が世界一(国民の67%)であり、「口コミ」をとても重視することです。「日本製」を好み、なかでも医薬品や菓子が人気ですが、日本人にとってはありふれた商品が口コミで爆発的に売れることも珍しくありません。台湾でのブームをいち早くキャッチするために、SNS上の情報を確認しておくのもよいでしょう。

また、台湾の人たちは「おまけ」が大好き。現地の店舗では「買一送一(マイーソンイー=1つ買ったら1つおまけ)」というキャッチフレーズをよく見かけます。SNSで話題になりそうな陳列やPOPづくり、購入特典をつけるなどの「おまけサービス」でお客様の心をつかみ、口コミ集客力アップに繋げましょう。

まとめ　台湾のお国柄

- ・日本の四季、文化に高い関心
- ・SNS利用率が世界一高く、口コミを重視
- ・購入特典などの「おまけ」が大好き



台湾の主な休日

1月下旬～2月上旬の
旧正月前後5日間

学生の夏休みは60日、
冬休みは約1か月

監修・株式会社やまとごころ 村山慶輔 インバウンド戦略アドバイザー。2007年にインバウンド観光に特化したBtoBサイト「やまとごころJP」を立ち上げ、ホテル・小売・飲食・自治体向けに情報発信、教育・研修、コンサルティングサービスなどを提供。国内外各種メディアへ多数出演し、AIRERA「アジアに勝つ日本人100人」に選出。著書に「訪日外国人観光ビジネス 沸騰するインバウンド市場攻略ガイド」(翻訳社)がある。

てくぶらざ 2016 SUMMER VOL.93

CONTENTS

- 外国人の満足のツボを知る
お国柄マーケティング
- 特集
価格以上の「価値」を伝える実践方法
お店にどんどん人が集まる
魔法のPOP戦略
- CUSTOMER'S PHILOSOPHY
私の店づくり戦略
～お客様訪問～
- ナフコ不二屋 岩野店
- 丘の一本松
- 牛たん炭焼 利久 泉本店
- ターゲットフォーカス
- 気になる消費ランキング
- ラク旨★レシピ
- クロスワードパズル
- 漢字パズル
- TECのある風景
ひごペットフレンドリー
ららぽーとEXPOCITY店

表紙イラストレー
ター
Eriy(エリー)



武蔵野美術大学在学中よりイラストレーターとして活動を始める。爪楊枝でイラストを描く手法で評価を得る。本誌表紙も爪楊枝で制作。

●今号のイラストについて
今回のテーマはアジアン雑貨店。先日スペインのコルドバ並んでいた通りがありました。伝統的なものから、アジア、ヨーロッパ風のもの……カラフルな色合いがとても素敵で、見ているだけで元気になる場所でした。今回はそんな場所をイメージして描いています。

価格以上の「価値」を伝える実践方法 お店にどんどん人が集まる魔法のPOP戦略

繁盛店のPOPが発信する5つの価値

- 商品価値**
価格以外に色、サイズなどの機能的価値と商品を買うことによって得られる「美味しい」「快適さ」などの情緒的価値
- サービス価値**
「焼きたて・揚げたて」「貴重」「特産」など目に見えないサービスの価値
- 知的価値**
商品に関連した専門家による情報やプロの知恵などの価値
- 人的価値**
生産者や販売者の情報や他の消費者の評判などの価値
- 地域価値**
お祭や行事、文化・風習など、その地域ならではの需要と価値

「POPノート」のススメ

POPは設置して終わりではありません。お客様の反応や結果などを必ず確認し、次に生かすことが大切です。そのためお勧めするのが、スタッフがPOPについて意見を交換する「POPノート」です。

POPノートを続けることで、よりお客様の心に届く精度の高いPOPづくりができるようになり、スタッフの目的意識の向上や社内コミュニケーションの活性化などの面でも高い効果があります。



▲POPノートのサンプル。まずはPOPの制作者が実物を貼り、制作意図を簡単に紹介。他のスタッフが感想や制作者への感謝の気持ちを書き込みます。読み返すことでも、より良いPOPづくりへの励みやヒントを得られます。

Information

『てつくぶらざ』では、今後もPOPづくりのヒントとなる記事を予定しています。お楽しみに!

価値、③知的価値、④人的価値、⑤地域価値左表。これらの価値を、お客様にとってどんなメリットがあるのかを考えながら発信することでの効果を上げる必要があります。売れる筋となる3割程度全商品を平等に扱う必要はあります。売れる筋となる3割程度の主力商品に注力することでお店の特長を打ち出しましょう。

「来店したお客様」を対象に、「売れ筋商品」に絞ったPOPづくりに時間と労力を注げば、セール時だけ来店するバーゲンハンターではなく、本当にお店を支持してくれるお客様が増えていきます。また、POP戦略ではお店の全商品を平等に扱う必要はありません。売れる筋となる3割程度の主力商品に注力することでお店の特長を打ち出しましょう。

いざPOPをつくるうという段階になって、「自分は字や絵が下手だから、お客様を呼ぶ手づくりPOPはとても無理」と思っている方いませんか?でも、「心配なく」お客様視点で考えると、インテリアから接客まで、どこにも隙がなく完璧すぎるお店には堅苦しさ

を感じ、滞在時間が短くなる傾向があります。一方、繁盛店には必ずどこか不完全さ(=遊び、人の匂い)があり、それが居心地の良さを生み出しています。POPは、このお客様が居心地良く感じる不完全さを演出するツールでもあります。「きれいに作ろう」とするのではなく、「お客様を楽しませよう」という気持ちで気軽にチャレンジしてみてください。



【図3】サービスを可視化するPOP

具体的な調理方法を紹介することで、味に対するこだわりと作り置きではない特別感を演出する



【図4】問い合わせるPOP

問い合わせやメッセージを載せることで、店舗としてお客様とのコミュニケーションを大切にしていることもアピールできる



【図2】お客様の声から生まれたPOP

揚げたての時間を伝えることで、売場が賑わうタイミングを測れるとともに、この場合、お客様が11時と16時の2回購入してくれるという、販売機会の増加にもつながる

キヤッチ「コピー」のヒントはお客様の声にあります!

POPで商品やサービスの価値を発信するために重要なのが、キヤッチコピーです。では、どうすればお客様の心に響くキヤッチコピーが作れるのでしょうか?そのヒントは「お客様の声」の中にあることが多いものです。図2のPOPは、もともと「揚げたてフライ一枚100円」という価格訴求中心のものでした。ところがこれを見たお客様が「何時頃に来れば、アツアツが買えるの?」と店員に質問しました。その店員はお客様に直接答えたながら、「他のお客様も口にしないだけ知りたがっているのかもしれません」と思い、図2のようなPOPを作りました。その結果揚げたての時間には売場にたくさんのお客様が押し寄せるようになりました。

図3はベーカリーのPOPです。この店で当たり前のことをして行っていた、注文を受けてから

クレームを詰めるサービスをPOPで可視化してみたところ大きな反響を呼びました。

図4のPOPは真夏のオフィスで悩む女性向けにつくったも

の。お客様が困っていることや悩

んだから、お客様を呼ぶ手づくりP

OPはとても無理」と思っている方

いませんか?でも、「心配なく」

お客様視点で考えると、インテ

リアから接客まで、どこにも隙が

なく完璧すぎるお店には堅苦しさ

が、悩みを抱える人はこうした問

いかけにはついつい反応してしまいます。

「伝えるべきことはお客様の声や心の中にある」。こうした視点からキヤッチコピーを考えると、

留まる必殺の一歩を生み出すことができます。

商品の価値を伝え「単価アップ」を目指す

折り込みチラシや広告は、不特定多数を対象にした「客数アップ」を目的としています。一方、売場に設置するPOPは、来店されるお客様を対象に「単価アップ」を目指します。冒頭で紹介したサンマのお刺身は、POPの仕掛けによりお客様に買いたい!と思つてもらいました。多少高くても買ってくださるお客様を増やす。そのためには、自店のサービスや商品の価値に自ら気づき、お客様に賛同してもらうことが重要です。

お客様の賛同を得るには、次の5つの価値を伝える必要があります。(1)商品価値、(2)サービス

みも重要なヒントです。「あなたは大丈夫?」という問い合わせのキヤッチコピーになっています。

4

「街の冷蔵庫」をコンセプトに 安心・安全、新鮮でおいしい食品を提供

株式会社 不二屋
取締役副社長
成瀬 祐一氏

愛知県春日井市と名古屋市北東部を中心に、スーパーマーケット25店舗を開発する株式会社不二屋は、1946年創業の老舗企業。「街の冷蔵庫」を店づくりのコンセプトに、安心・安全・新鮮な食品をお値打ち価格で提供し、地域のお客様から絶大な支持を得ている。宅配サービスなどの新しい試みにも挑戦する同社を取り材した。

幅広い客層から支持を得る 高いポイントカード利用率

名古屋市のベッドタウンとして人口が増え続ける春日井市。2000年に開業したナフコ不二屋岩野店は、同市西部の住宅地に囲まれた幹線道路沿いにある。売場面積は同社最大規模の1386畳で、高齢者から若い主婦まで幅広い客層が訪れる。「当社は地域に根ざした地元密着型のスーパーです。『街の冷蔵庫』をコンセプトに、鮮度が高くおいしい商品をなるべく安い価格で提供し、お客様の日常の食を支えることを目指しています」と同社副社長の成瀬祐一氏は話す。

入口付近の青果売場では季節を先取りした果物を大きく展開し、鮮度と豊富な品揃えをアピール。

依頼により、昨年4月から商品を軽トラックに乗せて売り歩く移動販売「道風ぐん」平安時代の書家・小野道風に由来する春日井市のマスクから命名も運営している。「こちらは市の高齢者支援事業の一環なので、採算度外視で行っています。将来的には宅配サービスの配達地域を市全域に広げることでまたなっていきたいと考えています」(成瀬氏)

セミセルフレジを導入 業務効率を上げ、接客も重視

岩野店では昨年8月、フルセルフレジと入れ替える形でセミセルフレジ4レーンを導入した。今年6月の電子マネー導入に向け、対応可能な機種への変更が大きな理由だが、接客により力を入れてい



▲入口付近で旬の果物を大々的に展開し、お客様を店内に引き込む

テナントが運営する鮮魚は丸魚を並べたダイナミックな陳列が目を引く。グロサリーでは赤味噌を使った調味料を多数揃えるなど、地域の食文化を旨に抑えに反映させている。販売促進の要となっているのがポイントカードだ。週2回のポイント5倍デーには客数だけでなく、客単価も大きく伸びる。500ポイント溜まった時点で500円分の商品券が自動発行される仕組みで、カード利用率は70%を超える。日々旅行や商品券などが当たるポイントキャンペーンも年5回実施しており、人気を集めている。

宅配サービスに加えて 移動販売もスタート

昨年11月、株式会社不二屋では「ナフコ不二屋宅配便」をスタート

「当社では有人レジでお客様お一人おひとりにきちんと接客したいと思っていますが、すべてのお客様がそれを望んでいるわけではなく、なかにはスピード重視のお客様もいらっしゃいます。セミセルフはその両方を実現できる理想的なレジと考え、導入を決めました」(成瀬氏)
地域のお客様と向き合って、お客様が喜ぶ商品やサービスの提供に徹底して取り組んでいきたいと話すもその企業姿勢の表れだ。

同社のそうした努力が実を結び、前期は過去最高益を記録した。創業70年の老舗としての知名度とお客様からの圧倒的な信頼感を武器に、同社の挑戦は今後も続く。

させた。インターネットや電話・ファックスで午前中に注文すれば、当日夕方までに商品を配達するシステムで、岩野店はその拠点となる店舗だ。配達エリアは岩野店を中心とした半径約5km圏内。対象は2万5000世帯において、取扱品目はインターネットだけ約1万品目、電話・ファックスの場合はそのうち5000品目を注文でき、チラシ掲載商品も店頭と同じ価格で購入できる。

「高齢者や子育て世代など、なかなか来店できないお客様にも当社の商品をお届けしたいと思ったのがきっかけです。まだまだ採算ラインに達していませんが、会員数は着実に増えています」(成瀬氏)

また同社では春日井市からも



▲高い人気を誇る開発商品の「旨味豚(うみみぶた)」。飼料に小麦とマイコ(トウモロコシの一種)を使い、臭みのないさっぱりした旨味が特徴

▲日帰り旅行などが当たるポイントキャンペーンは年5回実施。お客様から好評を博している



▲名古屋地方の食文化である赤味噌は、たれやソースなども含めて豊富に品揃えする



▲丸魚を豊富に揃え、鮮度と専門性を訴求する鮮魚売場(テナント運営)



▲店内調理の惣菜も調味料に赤味噌を使った商品が多い(写真は味噌カツ)



▲インターネットや電話・ファックスで注文した商品を自宅まで届ける「ナフコ不二屋宅配便」。生鮮食品の売上が5割以上を占める



ナフコ不二屋 岩野店

会社概要
会社名 株式会社不二屋
創業 1955年
代表者 成瀬 敏典
事業内容 食品スーパーマーケット
本社所在地 愛知県春日井市六軒屋町5-29
店舗所在地 愛知県春日井市岩野町2-13-11
ホームページ <http://www.nafco-fujuya.co.jp>



▲お客様自身が会計を行うセミセルフレジ[SS-800]。混雑時のスピードアップに威力を発揮している



▲電子マネーはCGCグループの「CoGCa(コジカ)」を導入。岩野店では6月から稼働予定だ



ユニークな店名で人気ブランドも開発 地元客に親しまれる沖縄土産の専門店

沖縄本島の北谷町にある「美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ」は、米国西海岸の雰囲気を模したショッピングエリア。「丘の一本松はその一角を占めるアミューズメント施設「ドラゴンパレス」の1階にある運営するの有限会社沖縄総合貿易だ。沖縄観光のお客様だけでなく、地元客にも親しまれている同店を取材した。

在住者や米軍関係者が利用 リピーターの多さも特徴

「丘の一本松」は2009年の「ドラゴンパレス」全館リニューアル時に開業。土産品店というとお客様の大半が観光客と思われがちだが、「丘の一本松」は地元客が多い構成比を占めている。「アメリカンビレッジ」にはスープもあり、地元のお客様が日常の買物に訪れます。当店のお客様も沖縄在住者が約4割を占め、帰省の際の土産品購入などにご利用いただいている。また、米軍基地が近いため、米軍関係者の利用も多く、沖縄観光のお客様は3割程度。そのため、リピーターが多いのが特徴です」

そう説明するのは、有限会社沖縄

総合貿易専務取締役の上原健氏だ。沖縄総合貿易は1983年4月に上原氏の父で現社長の光男氏が鹿児島県与論島で創業。員員工の加工販売からスタートし、同年6月に那覇市の國際通りに第1号店「トロピカルショッピングセンター島」を開店。以後、沖縄県下に土産品店を多店舗展開してきた。

「1号店は國際通りで最初の土産品店と言われています。今でこそ多くの土産品店やホテルなどが軒を連ねる一大観光ストリートですが、当時の國際通りは八百屋などが並ぶごく普通の商店街だったと父から聞いています(上原氏)」

店名を変えて出店 オリジナル商品も好調

現在同社は、國際通りに「ハイサ

有限会社 沖縄総合貿易
専務取締役
上原 健氏



▲木目を基調とした店内は、提灯やポスターなどの懐かしい装飾で買物の楽しさを演出



▲琉球ガラスなどの工芸品から特産品の泡盛まで、ありとあらゆる沖縄土産を扱う



▲道路側の入口には、英語・中国語・韓国語で大きく「免税」の文字



▲創業当時から自社で加工を行っている貝細工



▲ダンツの売上を誇る「にいもたると」は、店の中央で丹波



▲「ジャンピング・シーサー」のTシャツは沖縄土産の定番として根強い人気



▲LCCターミナル内に出店した「空の土産屋 美ら島」。免税対応のお客様が5割を占める



丘の一本松

会社概要
会社名 有限会社 沖縄総合貿易
創業 1983年4月
代表者 上原 光男
事業内容 土産品の企画・販売
本部所在地 沖縄県那覇市具志1-5-30
店舗所在地 沖縄県中頭郡北谷町美浜15-68
ホームページ <http://shi-sa.com>



▲カウンターには免税対応のPOSレジを設置。米軍関係者を中心に利用者も増えつつある



▲カウンターには免税対応のPOSレジを設置。米軍関係者を中心に利用者も増えつつある

きるLCCターミナルでは、購入者の約5割が免税対象となっています。ほかの店舗でも今後は着実に増えると予想しており、昨年は約1年かけて全店で中国語と韓国語による接客研修を行い、実践的な接客マニュアルも整備しました(上原氏)

昨年度は沖縄への外国人観光客が前年比70%増、過去最高の167万人に達した。今年度はさらに増えると見込まれている。免税対応レジへの切り替えを順次進めしており、「丘の一本松」を含めて5店舗で導入済みだ(2016年4月末現在)。

「国内線と国際線の乗り継ぎがで

ど、それぞれ店名の異なる7つの店舗を出店している。店ごとに店名を変えているのは、土産品店が狭いエリアに集中しており、同じ店名だと置いている商品も同じだと思われ、観光客から敬遠されがちになるからだという。ちなみに、一風変わったユニークな店名は、「社長がインスピレーションで付けています。『丘の一本松』も北谷町を舞台にした同名の大衆演劇から名付けました」と上原氏は語る。同社では土産品の企画製造や卸売も行っており、売上の約3割を占める。なかでも、オリジナルブランドとして定着しているのが「ジャンピング・シーサー」だ。跳び上がるシーサーのイラストを因案化したTシャツで、10年ほど前に

オーブンしたLCC(格安航空会社)専用ターミナルに11番目の店铺「空の土産屋 美ら島」を出店。開店に合わせて、免税対応レジを導入した。これに伴い、既存店でも免税対応レジへの切り替えを順次進めしており、「丘の一本松」を含めてすでに5店舗で導入済みだ(2016年4月末現在)。

「国内線と国際線の乗り継ぎがで

えだ。

こだわりの味を貫く牛たん料理を主軸に 店独自の個性あるメニューを提供

株式会社 利久
取締役 副社長
海老原 稔氏



▲炭火で一気に焼き上げることで、旨みをじめたジューシーで柔らかい食感を楽しめる



▲牛たん定食は2種類。「牛たん『極』定食」は通常よりさらに肉厚な牛たんを使用



▲接待や会合、宴会にも適した個室。暖簾で同席切りもできる(泉本店)



▲3月に仙台駅ビル「エスパル東館」にオープンした「6Ken Kitchen」



▲「6Ken Kitchen」のランチタイムは東北の素材を使ったハンバーガーとマリオ風カツレツセットなどが人気



牛たん炭焼 利久 泉本店

会社概要
会社名 株式会社 利久
創業者 亀井 利二
事業内容 飲食事業、加工食品の製造販売
本社所在地 宮城県岩沼市吹上2-2-36-1
ホームページ <http://www.rikyu-gyutan.co.jp>

様は「利久」という看板で選ぶのではなく、その店ごとの個性ある料理を求めて足を運んでくださいます」(海老原氏)
利久では2008年に県外に初出店してから、全国に店舗網を広げており、宮城県内に27店、県外は関東を中心に21店舗を構える(2016年4月末現在)。立地によって多少の違いはあるものの、県外でもベースである牛たん+牛のメニューを提供している。

会計時の待ち時間と回転率アップに貢献

利久では現在、POSターミナル「Q-T100」への切り替えを進めている。それまでは伝票を使つてお客様のオーダーを厨房に通していたが、新しいレジではハ

ンディターミナルに入力するだけ

で瞬時にオーダーが厨房に伝わる。そのため、ホール担当者の負担が軽減され、接客により力を入れられるようになつたといつ、「とにかく便利さを実感しているのが会計時です。オーダーを1点1点レジに打ち込む必要がないので、お客様をお待たせすることなくスムーズに会計ができ、回転率もアップしています」と利久泉本店の店長、長岐聰氏は話す。

同社はこの3月、仙台駅に新しくできた駅ビルに、東北6県の素材を使つた新業態のバル「6Ken Kitchen(ロツケンキッチン)」を出店した。「利久」の名前は出さず、牛たんも提供しない初めての店舗だ。県外出店を進め、本場・仙台の牛たんの味を全

国に広める一方で、こうした新しい挑戦も始まっている。



▲ハンディターミナルによって、オーダー業務の効率もアップ



▲レジは「WILLPOS-Mini QT-100」を導入。お客様をお待たせすることなく、会計ができるようになった



▲泉本店は目玉を基調とした温かみのあるインテリア。カウンターでは目の前で牛たん炭焼きのライブを楽しめる

「手切り」と「手塩」で 「肉厚でやわらかい」を実現

じっくり煮込んだデールスープ。季節の野菜を漬け込んだお新香に栄養豊富な麦飯。創業以来変わぬスタイルで提供している牛たん定食は「利久」の看板料理。そこには徹底した味へのこだわりがある。特にこだわっているのが「手切り」と「手塩」による仕込みで、それは素材をセントラルキッチンで調理し、各店に配達するようになつた今でも変わらない。

杜の都・仙台の名物として知られる牛たん。市内には多くの店が軒を連ねるが、旨さとボリュームで定評があるのが「利久」だ。1988年の創業以来、順調に業容を拡大し、現在は宮城県内だけでなく、北海道から九州まで全国各地に店舗を構える。徹底した味へのこだわりと多彩な品料理の提供で成長してきた利久の店づくりを聞いた。

や大きさを見ながら、手振りで塩加減を調整、冷蔵室でじっくり熟成させることで、独特的の風味と柔らかさが生まれます」

こう話すのは、株式会社利久の取締役副社長・海老原稔氏だ。焼き方にもこだわりがあり、厨房機器に制約のある一部店舗を除き全店で炭火を使用。高温でさっと焼き上げることで旨みをじ込め、ジューシーで柔らかい食感を実現している。

夜は店舗によって異なる 多彩なメニューで勝負

仙台市北部の住宅地に立地する泉本店は4年前に創業地から移転し、現在の場所で新装オープンした。幹線道路に面し、30台の専用駐車場を有していることもあって、

ランチタイムは62ある座席が常にフル回転している。昼夜はどの店舗でも牛たん定食を中心とした食事メニューを中心として提供しながら、夜は店ごとに異なる個性あるメニューを販売しているのが「利久」の特徴だ。牛たんシチュードなど牛たんを使った全店共通のメニュー以外は、基本的に各店に任されている。泉本店でも刺身の盛り合わせなどの本格的な和食からアヒージョなどの洋風メニューまで、バラエティーに富んだ品料理が並ぶ。

「まだ本店しかなかつた頃から、牛たんはちょっと苦手」というお客様にも楽しんでいただけるよう、牛たん以外のメニューを増やしていく結果、現在のようなスタイルになりました。常連のお客



TARGET FOCUS

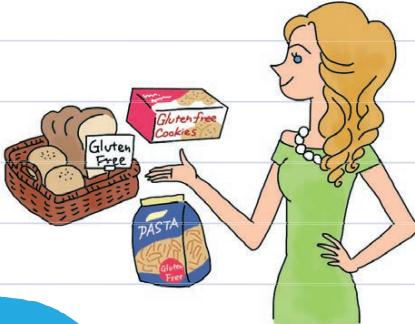
ターゲット★フォーカス

最新トレンド用語からネット用語、懐かしの流行語まで……。お客様の心理や関心を読み解き、消費行動の決め手となる選りすぐりのキーワードをご紹介します。職場のコミュニケーションツールとしてぜひお役立てください。



3 欧米のセレブやアスリートが火付け役 グルテンフリー・ダイエット

グルテンとは小麦などに含まれるタンパク質の一種だ。グルテンフリー・ダイエットは、パンやパスタなどグルテンを含む食品を摂らないダイエット法。欧米の女優などセレブが実践していることから日本でも話題になった。炭水化物抜きダイエットとは異なり、グルテンを含まない米や十割蕎麦、イモ類などは食べてもOK。近年は、小麦の代わりに米粉やトウモロコシン粉を使ったパンやパスタ・菓子などのグルテンフリー食品も増えている。ダイエット効果だけではなく、セレブが自らのグルテンフリー体験をテーマにして執筆した「ジョコビッチの生まれ変わった食事」(三五館)は日本でもベストセラーになっている。



もしかして死語!?

「ズック」

1970年代頃まで布製の運動靴のことを「ズック靴」、略して「ズック」と呼んでいた。地域によっては小・中学校などで履く「上履き」のことも「ズック」と呼ぶ場合もあったようだ。広辞苑によると「ズック」の語源はオランダ語で丈夫なインド産麻織地を意味する「doek」とされている。同じ時代に使われていた「とっくり(タートルネックのこと)」や「チョッキ(同ベスト)」、「バンド(同ベルト)」などもすでに死語。

★ ANOTHER FOCUS ★

「誰得」

「誰が得するんだよ」の略。行動や表現などが意味不明で理解できないときにつぶやく言葉。「それって誰得?」のように使う。そもそもはインターネット掲示板2ちゃんねる「ニュース速報版」の話題(スレッド)に対して、「誰が得するんだよこのスレは」というレス(応答)がつけられたことに由来する。この「誰が得するんだよ」が次第に定型句となっていき、そのうち「誰得?」まで短縮され、広く使われるようになった。

2 早起きは三文以上 朝型シフト

△2時間を利用した早朝セミナーや異業種交流会もあり、東京・丸の内エリア全域をキャンバスに見立てた「丸の内朝大学」では芸術・食・健康・環境・科学など幅広い分野の講座が開講されている。こうした朝型シフトにあわせて、営業開始時間を早めるカフェなどの飲食店も出てきているようだ。

1 地域振興にも貢献 聖地巡礼

昔から早起きは三文の得」と言うが、ここ数年で早起きするビジネスマンが増えてきた。大手企業が朝型シフトの勤務形態を取り入れたり、昨夏は国家公務員に「朝型勤務」が導入されたりと、働く人たちに朝型シフトの流れが加速しているからだ。また、20~30代の若い世代の会社員を中心に各地で広がっているのが「朝活」。出勤前の1



本来の「聖地巡礼」は、キリスト教のエルサレムやイスラム教のメッカなどを信徒が訪れる宗教的行為。しかし現代の日本で「聖地巡礼」と言えば、アニメや映画、小説などの舞台となつた土地をファンが訪れることを指す。聖地巡礼ブームのきっかけと言われるアニメ『らき☆すた』の埼玉県久喜市鷺宮や『ガールズ&パンツァー』の茨城県大洗町では、地元がアニメファンを積極的に受け入れてイベ

ントなどを実施。大きな経済効果を生み出すなど、町おこしにも役立つ。最近話題の聖地としては、大河ドラマ『真田丸』と名作アニメ『サマーオーブ』のダブル聖地である長野県上田市原作小説とアニメいずれも大人気の『響け!ユーフォニアム』の京都府宇治市などがある。

忙しくても
こだわりたい

ラク旨★レシピ

監修:しらいし やすこ
フードコーディネーター。広告や書籍、雑誌、
CM、WEBなどの撮影を中心に、料理・レシ
ピ制作およびスタイリングを手がけている。



鶏ささみの 梅肉和え

鶏ささみは茹でて具材と和え
るだけ。加熱時間が少なく、手
早く作れます。酸味が利いた季
節にも食欲をそそる一品です。

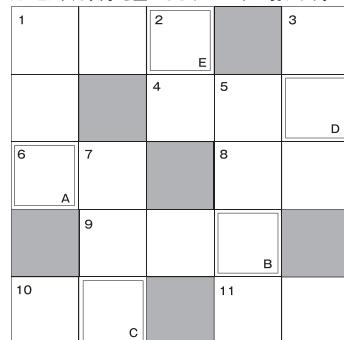
作り方

- 1 鶏ささみは酒を加えたお湯で弱火で茹で、冷まして刻く。きゅうりは縦半分の斜め切りにして塩をふり、水気が出たら絞る。三つ葉はざく切り、しそは千切りにする。
- 2 梅干しは種を取って刻み、Ⓐをまぜる。
- 3 ボウルに1と2を入れて和え、いりゴマをふる。

材料 (2人分)	鶏ささみ肉	2個	しそ	2枚	いりゴマ(白)	少々	みりん	小さじ1
	きゅうり	1/2本	酒	大さじ1	梅干し	2個	Ⓐ 砂糖	小さじ1/2
	三つ葉	1/2株	塩	少々			しょうゆ	小さじ1/2

クロスワードパズル

クロスワードパズルに挑戦しましょう。
A~Eに入る文字を並べるとキーワードが現れます。



漢字パズル

(例)のように、漢字の部分を組み合わせて、
二字熟語をつけてください。

(例)糸+成+敏+皿=繁盛

- 1 欠+立+日+心+谷=□□
- 2 木+穴+目+心+工=□□
- 3 月+冊+王+古+王=□□

タテのカギ
①夏の果物。目隠しをして声をたよりに割りましょう
②時間割で「国」は国語、「理」は?
③猛暑日とは最高〇〇〇が35℃以上のこと
④利き手以外の手でも使う刃物です
⑤一生に一度だけの機会!という意味をもつ四字熟語。〇〇一會

ヨコのカギ
①コシコシ……墨をする器
②タキが美味しい。ザザエさんの弟
③一寸法師。船はお櫂、箸は〇〇
④剣道で額につける道具
⑤カニのジャンケン、こればかり
⑥トンボの幼虫、水中暮らし
⑦2016年夏季五輪の開催地。ブラジルの〇〇

読者の
とっておき
エピソード

テーマ
私の自慢の仕事仲間/読者からのご感想

私と同世代の2人の従業員です。私以上に会社の仕事内容を把握してくれていて、今では3人で食事をする仲間です。何十年とテック様の事務コンを使わせていただいています。簡単な内容のみが伝票を出し、請求書を出し、締めをして……ということです。操作の仕方がわからない時は電話で教えていただき、いつも快く応対してくださり助かっています。ずっとテック様の事務コンを使用していきたいと考えています。(長野県・Yさん)

オリジナルQUOカード 2,000円分をプレゼントします。

応募方法 (下記①か②のいずれか)

締切:平成28年9月末日

①東芝テックHP内の応募フォームに必要事項を入力のうえ、ご送信ください。
②飲み込みの応募用紙に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリにてご送信ください。

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※当社社員および関係者のご応募はご遠慮ください。

でくぶらぎ プレゼント



【運営】アドア 1. 募集 2. 審査 3. 選定

気になる消費ランキング

働く女性の「外飲み」事情

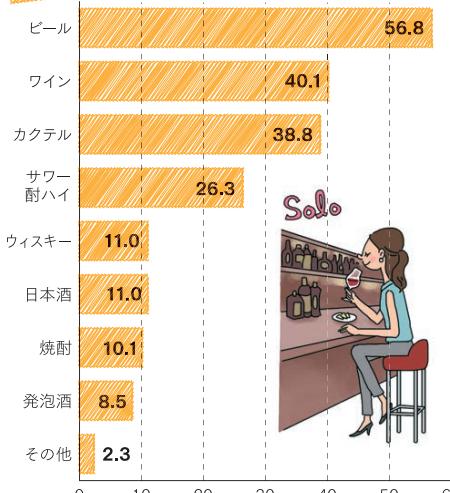
● シチュエーションによって飲み分ける!

働く女性が一人で外飲みするときのお酒は、ビール(56.8%)が一番人気。それに、ワイン、カクテルと続きます。一方、女性同士で飲む「女子会」においては、サワー・酎ハイ(52.3%)が1位で、次いでカクテル、ビールがほぼ横並び。ビールははずせなくとも、一人のとき、女性同士のときで微妙に飲み分けをしている実態が浮かび上がってきました。

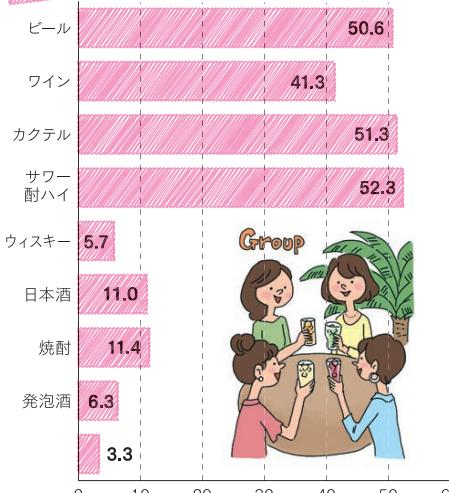
働く女性のよく飲むお酒

※単位はすべて%

一人で外飲み



女性同士の外飲み



(出典):マーケティング・リサーチ会社のクロスマーケティングが実施した「働く女性の外飲み事情に関する調査」(2015年4月)
20~49歳、東京在住の女性1,798人を対象

入りやすい雰囲気重視!

「一人飲み」でお店を選ぶ基準

一人で外飲みするとき、7割以上の女性がお店の選択基準として挙げたのが、「入りやすい雰囲気である」と。次に、「価格が手頃である」と、「一人客向けのサービスがあり、充実している」となどが挙がっています。

注目すべきは、置いてあるお酒の品揃えなど、直接お酒に関する意見が少ないことです。実は女性が「一人飲み」をする目的は、「気分のリフレッシュ」が6割を占めるという調査結果があり、お酒をたくさん飲みたい、好きなお酒を飲みたい、といった欲求は少ないようです。自分のペースでお酒を飲みながら、ちょっとした気分転換にうつてつけ……そんなお店が、女性の一人飲みに好まれているようです。



「ひごペットフレンドリー ららぽーとEXPOCITY店」は、昨年大阪府吹田市にオープンした総合ペットショップです。アミューズメントパークのような店内では、犬や猫はもちろん、熱帯魚やスマートアニマルなど多くの動物を取り扱っており、品質やデザインにこだわったペット関連商品も豊富です。トリミングサロンや動物病院を併設し、ペットとの暮らしを総合的にサポートしています。外国人のお客様も多いため、免税対応のPOSレジを導入しました。操作が分かりやすくお客様をお待たせしません。スタッフはみな動物好きです。お客様と、かわいい動物たちのお話ができるることを楽しみにしています。

(ひごペットフレンドリー ららぽーとEXPOCITY店 井藤鈴香さん／写真左、小野真紀さん／写真右)

【編集後記】

今号で『朝活』をご紹介しましたが、実は『夜活』という言葉もあるそうです。ウォーキングをしたり、カフェでのんびり読書をしたり、常備菜づくりをしてみたり。基本的には朝活同様、さまざまな過ごし方ができますが、朝活との違いは長めの時間がとりやすいこと、そして眠る前の時間であるため、心身のメンテナンスタイムとしても使えることです。早起きは自信がないけれど、今の生活を少し変えてみたいなあとお考えの方、まずは『夜活』から挑戦してみてはいかがでしょうか。(溝手 まゆみ)

●お問い合わせは

東芝テック株式会社

リテール・ソリューション事業本部 国内営業推進統括部 販売促進担当
〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー
TEL.03-6830-9220 FAX.03-6684-4002
<http://www.toshibatec.co.jp/>

編集制作：(株)ダイヤモンド・リテイルメディア



ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C006469

この冊子はFSC®認証紙を使用しています